

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	駅前広場・連絡通路整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	まちづくり推進課			
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備		主管課長	小野 満寿夫			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	つくばエクスプレス流山おおたかの森駅公開通路及び駅前広場	意図	つくばエクスプレスで分断されたセンター地区の円滑な歩行者ネットワークの確保。
事業内容	つくばエクスプレスにより分断されたセンター地区の歩行者ネットワークを確保するための公開通路の整備及び維持管理。			
事業開始から現在までの状況変化	高架下商業施設に併せて、つくば方の公開通路を整備した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		公開通路の整備延長（秋葉原方）	0	0	0	m	
	公開通路の管理延長（つくば方）	18	18	18	m		
指標で表すことができない定性的な成果	駅の北口と東口が公開通路で連絡し、歩行者ネットワークが確保され利便性が向上した。					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・定期的な清掃や点検を実施しており、利用者からの苦情等は寄せられていない。 ・駅利用者の増加と共に、通路利用者も増加傾向にあることから、引続き適正な維持管理に努める必要がある。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		855,903	902,215	73,871,744			
事業費(b)(円)		441,303	450,415	70,439,244			
うち一般財源		441,303	450,415	5,133,244			
職員給与費(c)(円)		414,600	451,800	3,432,500			
人役・職員(人)		0.06	0.06	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	縮小（改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	未整備となっている秋葉原方連絡通路について、高架下商業利用事業者と調整を図りながら、通路の整備を進める。	取組の課題	高架下の商業利用にあたり、関係機関との調整に不測の時間を要している。
今年度(H28)に実施した取組	高架下の商業利用にあたり、事業者と関係機関との調整を行った。	今後の改善計画	高架下商業利用事業者と関係機関の協議を促進させ、早期に連絡通路整備に着手する。